# いのちと地域を守る

## 河北新報社、防災・減災ページ新設

東日本大震災の教訓をどう生かし、「防災」の地域・津波などを考えるか。河北新報社は読者参与一緒に災害対策を考、備えへの意識を高めて行動に移すため「防災・減災ページ」を新設します。「いのちを守る」「地域を守る」がテーマです。

いのちと地域を守るため、地域に密着し、住民とワークショップを展開しています。家庭でできる地震への備えは何か。自力での避難が難しい要援護者を誰が助けるのか。避難誘導に当たる消防団、民生委員の安全対策は…。具体的な課題について、現場で参加者を交えて探り下げ、検証します。

東北地方で、巨大地震や大津波に見舞われてきたことは、歴史が伝えています。平安時代の貞観（８６９年）では津波が山元平野にも押し寄せ、約１０００人がのみ込まれました。江戸時代の慶長三陸地震（１６１１年）では、津波により１５００人余りが犠牲になったとされています。東日本大震災により、過去の災害の記録と教訓を学ぶ機会を多くもたらかの思い知らされました。

過去に学び、未来に伝える紙面にします。「防災・減災のページ」の名称は、東日本大震災が発生した「３・１１」を忘れないため、毎月１１日に掲載します。

### 地域課題 多角的に

「防災・減災のページ」では、社説部分での津波対策のほか、都市部のマンションの安全対策、中山間地での高齢者の孤立など、さまざまな地域で多角的に問題を探ります。

今回の震災で浮き彫りになった課題をあらためて検証します。東北大災害科学国際研究所のメンバーが中心となり、災害の歴史や最新の地震研究内容を伝えるコーナーも設けます。

住民が自らの命を守ったり、に結びきを結べた地震・津波の体験談も掲載する予定です。

### ■情報をお寄せください■

「防災・減災のページ」に意見や感想、取り上げてほしいテーマ、防災情報をお寄せください。宛先は〒980―8660仙台市青葉区五橋1―2―2河北新報社編集部「防災・減災のページ」係。ファクスは022(211)1256。電子メールアドレスはbousai@po.kahoku.co.jp

## 行政・研究・地域・報道　座談会

# 教訓刻み 不断の努力

### 共助の地域づくりを

たなか・れいじ　能代市出身。明治大大学院修了。1996年から東北工業大教授。山谷市八千代町災害対策委員長として若者参加型の防災活動を進めてきた。専門は建築工学。71歳。

東日本大震災の教訓をどう生かし、「防災」の地域・津波などを考えるか。河北新報社は読者参与一緒に災害対策を考、備えへの意識を高めて行動に移すため「防災・減災のページ」を新設します。「いのちを守る」「地域を守る」がテーマです。

いのちと地域を守るため、地域に密着し、住民とワークショップを展開しています。家庭でできる地震への備えは何か。自力での避難が難しい要援護者を誰が助けるのか。避難誘導に当たる消防団、民生委員の安全対策は…。具体的な課題について、現場で参加者を交えて探り下げ、検証します。

東北地方で、巨大地震や大津波に見舞われてきたことは、歴史が伝えています。平安時代の貞観（８６９年）では津波が山元平野にも押し寄せ、約１０００人がのみ込まれました。江戸時代の慶長三陸地震（１６１１年）では、津波により１５００人余りが犠牲になったとされています。東日本大震災により、過去の災害の記録と教訓を学ぶ機会を多くもたらかの思い知らされました。

過去に学び、未来に伝える紙面にします。「防災・減災のページ」の名称は、東日本大震災が発生した「３・１１」を忘れないため、毎月１１日に掲載します。

### 情報の一元化不可欠

かまた・ゆきお　宮城県亘理町出身。旧亘理農業高卒。会社勤めの傍ら町内会活動に携わり、2000年から現職。震災では近所の高齢者たちを車で避難させた後、地区の避難誘導に当たった。72歳。

被害状況の把握に時間がかかりました。どこが被害の重点なのか、どこに救援の重点を置くのか。おそらく被害状況が分かるまでに三、四日かかりました。

亘理町は、町内の消防団員の安否確認に時間がかかりました。内陸部の消防団員は、海岸部の消防団員の安否を確認するのに時間がかかりました。

大江　防災関係の情報は、国や県、市町村などの関係機関が、それぞれ別々に集めているのが現状です。ばらばらの情報を集約し、一元的に管理する必要があります。

情報の一元化